(案)

整備方針について【検討案B】

基本構想（素案）への反映について（案）

◎検討委員会では、近年、建築費高騰や大きく変化する社会情勢に柔軟に対応することや、将来的な町の負担を少なくするために事業規模を縮減する検討を進めてきました。

◎今後、まちづくりに関する方向性が大きく変わる可能性があるなか、これまで議論を続けてきた、長期利用による建替え等の必要性は変わらないが、建設のタイミングについては、時期をしっかりと見定めた中での結論が必要と考えます。

◎以上のことを考慮して『整備方針』については次のとおり整理する。

- ①庁舎建設の目指すべき整備方針は「新築」とし、既存施設を活用した分散配置も含めた整備とする。
- ②建設時期は、町を取り巻く情勢を見定めるため、遅らせることもやむを得ない判断と考える。
- ③建設時期までの期間は、現庁舎の耐震性の確保が優先事項となるため、早急に調査を行い耐震補強に向けた検討を進めることが必要と考える。
- ④検討委員会にて議論を進めてきた、まちづくりに寄与する庁舎建設などの、基本構想に伴う意見は庁舎建替え等に対する提言とする。
- ⑤既存施設を活用した分散配置については、建設時期までの期間においても積極的な活用による利便性の向上など有効性を確認していく。